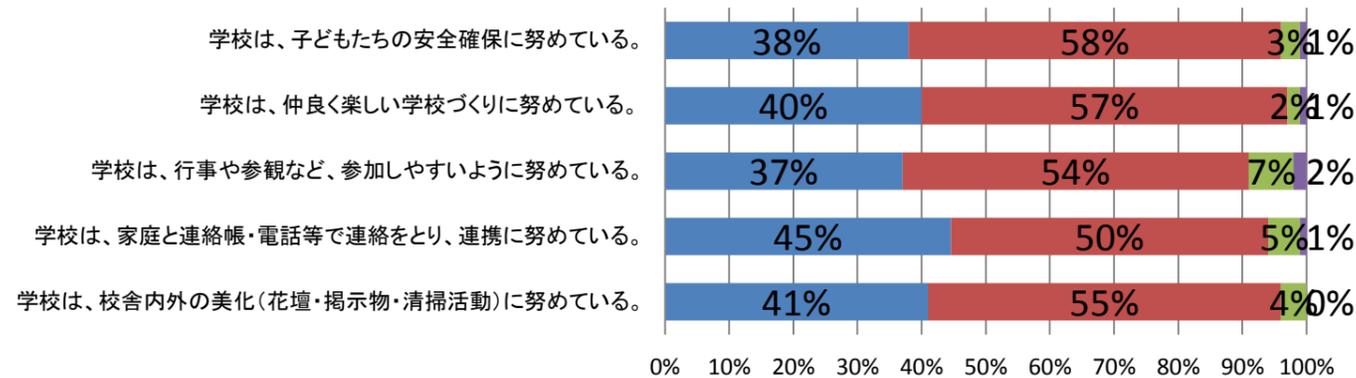


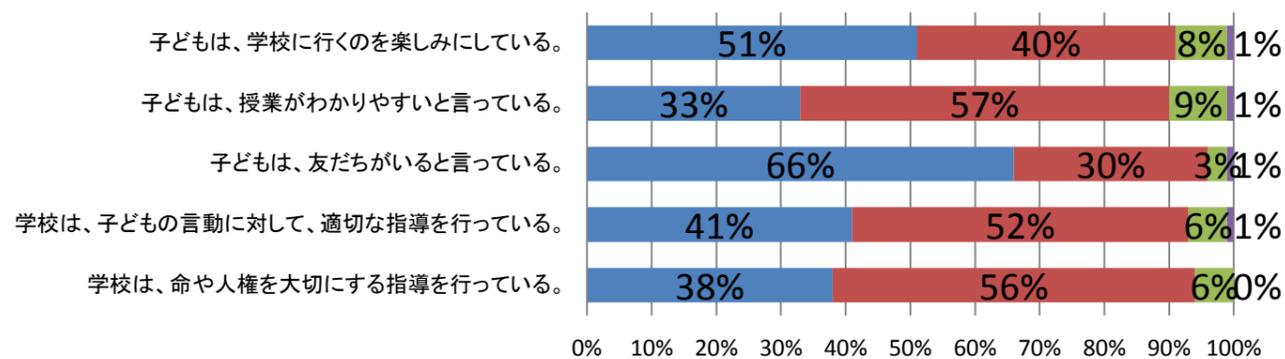
平成29年度 学校教育アンケートの結果について（報告）

保護者の皆様には、本年度の教育活動推進に対して、ご理解とご支援を賜りましたことを厚くお礼申し上げます。早いもので、わかば西小としてスタートして、丸2年が終わろうとしています。この一年間の取り組みを評価して頂くべく、学校教育アンケート調査を実施させていただきました。以下の通り集計結果が出ましたので、ご報告させていただきます。

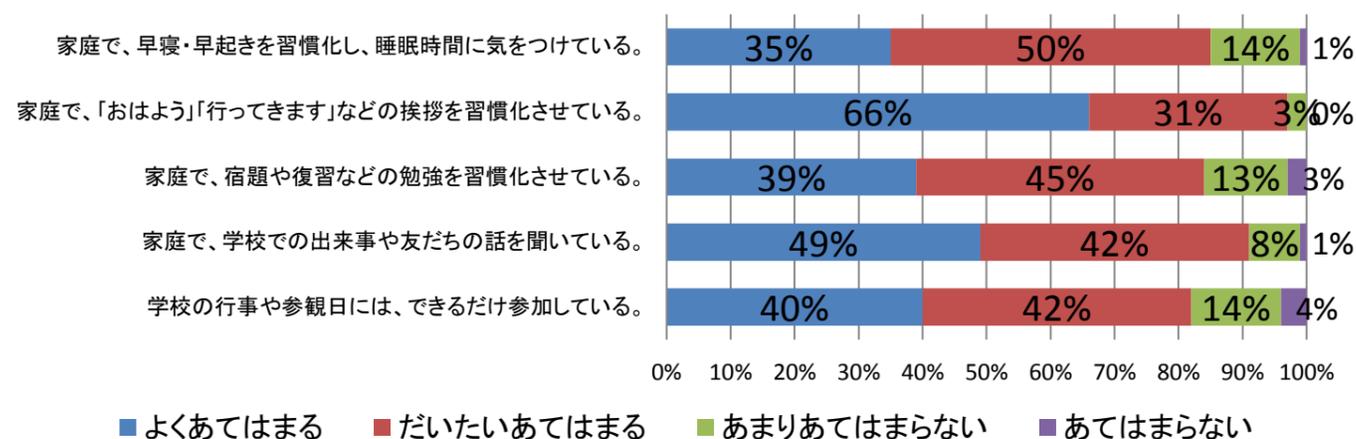
(1) 学校運営に関すること



(2) 教育活動に関すること



(3) 家庭に関すること



■ よくあてはまる ■ だいたいあてはまる ■ あまりあてはまらない ■ あてはまらない

(小数点以下切り上げ)

アンケート結果について（考察）

(1) 学校運営に関すること

統合以来、一番心配しているのが、登下校の安全です。特に低学年児童には交通安全指導・自転車安全教室など、年間を通し、安全指導に継続して取り組んで参りました。傾向として下校後に事故が起こる事が多く、学期末は、DVDを活用した安全指導を徹底しました。今後、下校後や休日でも、特に自転車での事故に遭わないよう、家庭と連携して安全指導・事故防止に取り組んでいきたいと思ひます。

また、「仲良く楽しい学校づくりに努める」という項目についても、昨年に続いて一定の評価をいただいております。新校舎に移転しますが、今後も児童の個性や思いを大切に、何でも話し合える学級・学校づくりを進めて参ります。

(2) 教育活動に関すること

本年度も「学校に行くのを楽しみにしている、友だちがいる」の項目が、昨年とほぼ同じの数字で安心しています。初年度比べて、仲良くなった反面、いたずらや気のゆるみも見られました。今後も児童理解を中心にした教育活動を進めて参りたいと思ひます。「授業がわかりやすい」という項目については、昨年より良い評価を頂きましたが、引き続き今後の課題として全職員が共通理解し、わかば西小の児童に合った学習指導・形態を目指し取り組んで参りたいと思ひます。

(3) 家庭に関すること

ご家庭で「挨拶を習慣化させている」の数字が今年も高かったです。学校教育目標に「にこやかに挨拶と返事ができる子」とあります。何事にも前向きで、素直な児童に育ていきますよう家庭と連携し、いつでも誰にでも、にこやかに挨拶ができる子に育てていきたいと思ひます。

家庭での宿題や復習の習慣化については、あまりあてはまらないとの回答が多く、児童アンケート調査と一致しています。学校では、今年も自主学習ノートの取り組みを進めています。学年に応じて、自分から進んで学習に取り組む習慣の定着を目指しています。手本となる取り組み例を、学期ごとに校内に掲示しています。自分で学習する楽しみ、充実感を味わって欲しいです。

(4) 提案・感想などより

- ・子どもは「学校に行くのが楽しい」と言っている。毎日楽しく登校している。今後も先生方の連携した指導をお願いします。新校舎に行くのをとても楽しみにしている。外で活動し体力をつけて欲しい。
- ・先生方には細かく、丁寧に指導して頂いて安心している。熱心に指導して頂いているが、言動が気になることがある。子どもの心の声を聞き、気持ちをよく考え、適切な言動できちんと指導して欲しい。
- ・マラソン大会を校内でもよいので実施してはどうか。土曜日のオープンスクールなどを増やして欲しい。
- ・あいさつができない子がいるのが気になる。子どもの心ない言葉等で傷つく子がいる。
- ・新しくなる通学路の安全が心配。特に緑川の信号を渡らせることに不安がある。パトロール等に取り組んでいただきたい。校内に簡単に入れるので、セキュリティ面が気になる時がある。安心・安全のために、不審者などの情報、自然学校等の到着時間等も、ミマモルメで連絡してはどうか。

※ アンケートに複数のご要望としてありました、土曜日のオープンスクールの設定や、より参加しやすい学校行事については、出来るだけ皆様にご参加頂けるよう検討し、改善していきたく思ひます。新校舎に移転しますが、登下校の児童の安全指導・確保については、引き続き重点目標として地域・家庭と連携して取り組んでいきたいと思ひます。また、ミマモルメを活用した安全面、衛生面の情報等の発信についても検討して参りたいと思ひます。

今回のアンケート集計結果、いただいたご意見は、来年度の教育活動の貴重な資料とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。今後とも、ご理解ご協力よろしくお願ひ致します。